

令和7年度富岡東地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	居宅介護支援事業所や介護サービス事業所の選択に際しては事業所の一覧表などを提示し、複数の施設から選べることをご利用者に明示し選んでいただきます。	毎年個人情報保護の研修を全職員に対して行います。実施時には個人情報保護の誓約書を全職員にとります。また、毎月のミーティングで個人情報漏洩の事例等を周知し、注意喚起を促します。
実績	事業所一覧、ハートページを活用し、相談者・ご利用者が複数から選択できるように対応しました。	法人の個人情報保護マニュアルを用いて、全職員に個人情報保護の研修を実施しました。 個人ファイル等の個人情報は、必ず鍵のかかる書庫に保管、誤配布・誤送信を防ぐために、必ずダブルチェックを行って定期的にチェック体制の点検をしております。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	地域とのかかわりを念頭にプランを作成し、いきいきと自立した生活が送れるよう支援します。	ご利用者に寄り添い、自立支援に資したケアプランを作成します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	主任介護支援専門員1名、社会福祉士1名、看護師1名	介護支援専門員4名
契約者数	80件	106件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	疾病や認知症があっても住み慣れた地域でその人らしく生活が送れるよう、機能訓練を中心としたプログラムを実施します。自立した生活が送れるよう、いきいきと生活できるよう支援します。		
実施体制	【実施日数】週6日 【提供時間】9:30～16:30 【定員】38名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】昼食代 900円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	相談員1名、介護職員(非常勤含む)12名、看護・機能訓練職員(非常勤含む)5名、運転5名		
契約者数等	【延べ利用者数】 通所介護 7535 名 【契約者数】72名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「横浜市富岡東地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜（参考）地域活動交流＞

収入の部

（単位：円）

科目	当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C-D）	説明
指定管理料	20,488,641	676,925	21,165,566	20,239,231	926,335	横浜市より
内 受領額	20,488,641	676,925	21,165,566	21,165,566	0	
内 戻入額				△ 926,335	926,335	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	32,200	△ 32,200	
雑入	0	0	0	84,018	△ 84,018	
内 印刷代			0	0	0	
内 自動販売機手数料			0	84,018	△ 84,018	
内 その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	20,488,641	676,925	21,165,566	20,355,449	810,117	

支出の部

科目	当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C-D）	説明
人件費	12,600,000	0	12,600,000	10,271,530	2,328,470	法人本部経費×
内 本俸	11,000,000		11,000,000	6,542,243	4,457,757	
内 社会保険料	1,250,000		1,250,000	950,087	299,913	
内 手当計	250,000		250,000	2,661,332	△ 2,411,332	
内 健康診断費	30,000		30,000	40,289	△ 10,289	
内 勤労者福祉共済掛金	70,000		70,000	77,579	△ 7,579	
内 退職給付引当金繰入額			0		0	
内 その他			0		0	
事務費	2,565,000	0	2,565,000	1,716,853	848,147	法人本部経費×
内 旅費	100,000		100,000	14,104	85,896	
内 消耗品費	400,000		400,000	384,432	15,568	
内 会議随い費			0	0	0	
内 印刷製本費	120,000		120,000	115,081	4,919	
内 通信費	200,000		200,000	360,124	△ 160,124	
内 使用料及び賃借料	40,000	0	40,000	44,717	△ 4,717	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支	20,000		20,000	21,120	△ 1,120	
内 内 その他	20,000		20,000	23,597	△ 3,597	
内 備品購入費			0	0	0	
内 図書購入費			0	0	0	
内 施設賠償責任保険			0	0	0	
内 職員等研修費			0	0	0	
内 振込手数料	5,000		5,000	0	5,000	
内 リース料			0	27,865	△ 27,865	
内 手数料			0	3,465	△ 3,465	
内 地域協力費			0	0	0	
内 公租公課	1,600,000	0	1,600,000	0	1,600,000	
内 事業所税			0	0	0	
内 消費税	1,600,000		1,600,000	0	1,600,000	
内 印紙税			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
内 その他	100,000		100,000	767,065	△ 667,065	
事業費	400,000	0	400,000	409,876	△ 9,876	法人本部経費×
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	350,000		350,000	409,876	△ 59,876	
内 その他	50,000		50,000		50,000	
管理費	6,200,000	5,284,341	11,484,341	5,090,741	6,393,600	法人本部経費×
内 光熱水費	3,000,000		3,000,000	2,380,249	619,751	
内 清掃費	1,600,000		1,600,000	1,696,817	△ 96,817	
内 機械警備費	400,000		400,000	297,824	102,176	
内 設備保全費	600,000	5,284,341	5,884,341	715,851	5,168,490	
内 空調衛生設備保守	200,000		200,000	182,977	17,023	
内 消防設備保守	50,000		50,000	39,418	10,582	
内 電気設備保守	50,000	5,284,341	5,334,341		5,334,341	
内 害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	23,359	26,641	
内 駐車場設備保全費			0		0	
内 その他保全費	250,000		250,000	470,097	△ 220,097	
内 共益費			0		0	
内 その他	600,000		600,000		600,000	
修繕費	600,000		600,000	413,644	186,356	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0	193,600	△ 193,600	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
その他			0		0	
内						
支出合計	22,365,000	5,284,341	27,649,341	18,096,244	9,553,097	
差引	△ 1,876,359	△ 4,607,416	△ 6,483,775	2,259,205	△ 8,742,980	

自主事業費 収入	0	0	0	32,200	△ 32,200	
自主事業費 支出	350,000	0	350,000	409,876	△ 59,876	
自主事業 収支	△ 350,000	0	△ 350,000	△ 377,676	27,676	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	84,018	△ 84,018	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	20,000	0	20,000	21,120	△ 1,120	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 20,000	0	△ 20,000	62,898	△ 82,898	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「横浜市富岡東地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	26,106,916	857,915	26,964,831	26,801,787	163,044	横浜市より
内 受領額	26,106,916	857,915	26,964,831	26,964,831	0	
戻入額				△ 163,044	163,044	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	200,000		200,000	200,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,170,890		6,170,890	5,852,071	518,819	横浜市より
内 受領額	6,170,890	119,160	6,290,050	6,290,050	0	
戻入額				△ 637,979	637,979	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	31,900	△ 31,900	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	49,600	△ 49,600	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	1,300	△ 1,300	
内 印刷代			0	0	0	
戻 自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	1,300	△ 1,300	
その他			0	0	0	
収入合計	32,631,806	1,834,990	34,466,796	32,890,658	1,576,138	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,794,956	7,500,078	33,295,034	23,410,898	9,884,136	法人本部経費×
内 本俸	25,794,956		25,794,956	12,420,782	13,374,174	
社会保険料			0	3,093,489	△ 3,093,489	
手当計			0	7,500,078	△ 7,500,078	
健康診断費			0	9,583	△ 9,583	
勤労者福祉共済掛金		7,500,078	7,500,078	386,966	7,113,112	
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他			0	0	0	
事務費	905,000	0	905,000	2,455,779	△ 1,550,779	法人本部経費×
旅費	100,000		100,000	116,788	△ 16,788	
消耗品費	400,000		400,000	806,466	△ 406,466	
会議謝礼金			0	0	0	
印刷製本費	130,000		130,000	115,086	14,914	
通信費	170,000		170,000	357,604	△ 187,604	
使用料及び賃借料	30,000	0	30,000	0	30,000	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
戻 その他	30,000		30,000	0	30,000	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費	30,000		30,000	27,032	2,968	
振込手数料	5,000		5,000	6,820	△ 1,820	
リース料			0	27,866	△ 27,866	
手数料	10,000		10,000	482,952	△ 472,952	
地域協力費			0	0	0	
公租公課						
事業所税						
内 消費税						
戻 印紙税						
その他						
その他	30,000		30,000	515,165	△ 485,165	
事業費	1,540,070	0	1,540,070	1,502,019	38,051	法人本部経費×
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	247,070		247,070	424,848	△ 177,778	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	28,600	125,400	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000	194,099	5,901	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000	371,472	△ 62,472	
その他			0	0	0	
管理費	1,720,000	0	1,720,000	1,353,229	366,771	法人本部経費×
光熱水費	800,000		800,000	632,724	167,276	
清掃費	500,000		500,000	451,052	48,948	
機械整備費	100,000		100,000	79,168	20,832	
設備保全費	170,000	0	170,000	190,285	△ 20,285	
空調衛生設備保守	50,000		50,000	48,639	1,361	
消防設備保守	15,000		15,000	10,478	4,522	
電気設備保守	15,000		15,000		15,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	6,209	3,791	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	80,000		80,000	124,959	△ 44,959	
共益費			0	0	0	
その他	150,000		150,000		150,000	
修繕費	126,000		126,000	109,956	16,044	予算:指定額
その他			0		0	法人本部経費×
支出合計	30,086,026	7,500,078	37,586,104	28,831,881	8,754,223	
差引	2,545,780	△ 6,665,088	△ 3,119,308	4,058,777	△ 7,178,085	

自主事業費 収入	0	0	0	81,500	△ 81,500	
自主事業費 支出	910,070	0	910,070	1,019,019	△ 108,949	
自主事業 収支	△ 910,070	0	△ 910,070	△ 937,519	27,449	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名: 富岡東地域ケアプラザ

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	3,300	7,763	-4,463	24,000	19,922	4,078	78,000	92,185	-14,185			0
	その他	0	0	0	3,300	6,416	-3,116	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0	3,300	6,416	-3,116			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	6,600	14,179	-7,579	24,000	19,922	4,078	78,000	92,185	-14,185	0	0	0
支出	人件費			0	2,500		2,500	19,000	16,840	2,160	45,600	51,040	-5,440			0
	事務費			0	1,400		1,400	5,000	5,585	-585	12,800	26,466	-13,666			0
	事業費			0			0		617	-617	11,200	17,518	-6,318			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	0	0	0	2,700	2,301	399	0	0	0	360	0	360	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	2,700	2,301	399			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	360		360			0
	支出合計(B)	0	0	0	6,600	2,301	4,299	24,000	23,042	958	69,960	95,024	-25,064	0	0	0
収支 (A) - (B)		0	0	0	0	11,878	-11,878	0	-3,120	3,120	8,040	-2,839	10,879	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 7：共催（1と2と3）		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加人数	うち オンライン 参加人数
1	子育てサロン「くるりん」	平成17年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て関係の情報提供、子育て世代の孤立予防。(子育て親子の地域デビューの場を設ける)新型コロナウイルス感染症拡大に伴い子育て世代の外出先が大きく制限され、今まで以上に「個””孤”(立)そだてが深刻な問題として表面化している現状があり、子育て支援の情報が届く場所として機能させていく。	3:養育者及び乳幼児		毎月第1月曜日開催 乳幼児と保護者のフリースペース。ボランティアには金沢シーサイドタウン地区の地区社協役員、主任児童委員、民生委員、富岡第二地区の主任児童委員にサポートを依頼。年度で数回ミニ企画を実施。	12	0	251	0
2	障がい児者余暇支援「太陽の森」	平成18年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	軽度知的障がい児者の余暇支援を中心に、地域とのつながりを作ることを目的とする。また、ご家族のレスパイトや見守りボランティアの皆さまへの障がい啓発の場としても活用していく。その他にも貸館団体の福祉保健活動としての機会としても活用していく。	2:障害児・者		毎月第2土曜日 地域のボランティアと交流しながら、月ごとに内容を変えて、料理・工作・畑の作業・スポーツなどを楽しむ。	11	0	78	0
3	T・NIぼっちゃくらぶ	令和6年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	屋内でも実施可能で体操以外の身体を動かせるスポーツとして「ポッチャ」を取り入れる。今年度は段階的に後方支援団体へ移行し、次年度自主団体として自立していただくことを念頭に「T・NIぼっちゃくらぶ」を結成。今年度は、後方支援団体としてメンバーを中心に安定した運営ができるように支援する。	5:地域		毎月第2金曜日と第4水曜日 当日集まった参加者同士でチーム分けを行い対戦する。	24	0	341	0
4	ジュピの何でも相談	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	包括担当エリアである富岡東3丁目からはケアプラザへのアクセスが悪く、包括及びケアプラザの機能周知が行き届いていない。包括職員を中心にケアプラザ職員が出張相談を行うことで、ケアプラザへのアクセスが悪い地区にも機能周知をする機会と気軽に相談できる場を作り、関係各所との連携も図る。ケアプラザへのアクセスが悪い地区でも、アクセスが良い地区同様にケアプラザ機能を利用できるようにする。	5:地域		毎月定期的に相談会を開催する。その中で参加者の中から要望があれば、その後の開催日に併せ勉強会等を実施する。	12	0	60	0
5	とみひ 春のビザ祭り	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	子どもに対して食育が行われ始め20年が経つ。子どもだけではなく、食事がおざなりになっている高齢者などに対しても食事に對しても考えるきっかけとなり、また年代問わず交流できるイベントとして行う。	5:地域		ゴールデンウィークにはビザ祭りをを行い、好評であったら夏休みや冬休みにも実施予定。	2	0	38	0
6	これからの介護について考える会	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	事業名の通り、今は自立している方の参加が多いため、福祉用具についてや在宅での生活が難しくなった時に入所するよう施設見学などを通して、介護が必要になった場合を考えたり話したりするきっかけとしていただく。	1:高齢者		毎月定期的に開催し、福祉用具や紹介会社の協力を得てセミナーや見学を行う。	12	0	127	0
7	ほのぼの出張相談	平成20年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域住民や地区社協、ボランティア等関係機関との連携とケアプラザの認知度向上、事業等の周知を行う。	5:地域		偶数月の第3木曜日(8月は休み) 子育て中の親子から高齢者まで多世代が立ち寄る場として福祉保健相談や地域の情報提供、また情報交換などを行う。	6	0	46	0
8	国際交流フェスタ	令和6年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	昨年初めて国際交流フェスタを行い、外国の方からのお話や料理、ゲームなど好評であったが、課題等も出てきた。今年もそれを踏まえて、外国の方ののこを知ったり、交流の機会としたい。	5:地域		昨年は秋に行ったが、今年は他のケアプラザ等でイベントが少ない春に行う。	1	0	300	0
9	親子de体験♪食育講座シリーズ	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	核家族化や地域のつながりの希薄化など時代の変化に伴い、全国的に子育て世代の孤立感や負担感が増している。横浜市子ども子育て支援事業計画のニーズ調査で、子育てをしていて感じている困りごと第6位が「子どもの食事」である。子どもから高齢者まで生活する上で欠かせない「食・栄養」をテーマに、子育て世代と地域・支援者がつながり、この地区ならではのニーズ把握や課題解決ができるよう企画調整していく。	5:地域	3	認定栄養ケアステーションの管理栄養士による食育講座と、親子で調理と試食ができる内容とする。調理のサポートとして「ヘルスメイト並木」に協力いただく。 6月28日(土)「朝食ワークショップ」 12月20日(土)「おだしにふれよう」 2月7日(土)「バレンタイン手作りカップケーキ」	3	0	61	0
10	救急法基礎・救急員養成講習	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域で活動されているボーイスカウト横浜第100団が主催。一般の方を対象とした日本赤十字社の救急法講習は、日赤の支部や県域で開催されているが、地域の方にとっては遠方のため参加しにくい課題があった。福祉保健の目的にも合致するため、ケアプラザが共催として開催する。	5:地域		6月15日(日)・21日(土)・22日(日) 日本赤十字社の救急法基礎と救急員養成講習の計3日間。主催のボーイスカウト横浜第100団が、研修機材の調達や、当日の講師を務める。	3	0	84	0
11	司法書士相談会	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民の方を対象に、成年後見制度及び相続・遺言等について不安を抱えている方が個人的に相談出来る機会を持つことにより、解決手段の方法の一つとして頂く。	5:地域		並木・能見台・富岡包括との連携事業。石村司法書士をお呼びして、無料相談会を実施する。	2	0	7	0
12	個別スマホ相談会	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	スマホ操作に関する総合相談も増える傾向にある担当地区で、住民が便利に安心して生活できるようにする。また詐欺広告等に騙されないよう、啓蒙活動を行う。スマホ相談を定期的に開催すること。アプリ活用法などの応用講座を行うことで、最終目標は自主活動グループの見守りツールとしてスマホを活用したり、メルカリ等のアプリで生前整理を行ったり、広く住民の権利擁護につながること。	5:地域		予約枠の時間内でスマホの操作等に関する相談を受ける。また金沢シーサイドタウン地区社協開催の「ふれあい広場ほのぼの」と共催することで、広く取り組みを知ってもらおう。	11	0	37	0
13	ピアレ出張相談	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザから遠い並木3丁目の方へ、できる限り近所でケアプラザ機能周知、相談の機会を設ける。ケアプラザから遠いエリアでもケアプラザ機能を活用できる。	5:地域		出張相談会を開催。	12	0	2	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
14	ゴールデンウィーク親子で工作教室	令和6年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	令和7年度より始まるチームオレンジ事業に向け、地域住民が作成した認知症関連の本棚を使用することで、幅広い方にチームオレンジに加わって頂けるよう工作教室を開催する。制作物をケアプラザやチームオレンジ活動拠点で使用することで、チームオレンジに加わる人を一人でも増やす。	5：地域		建築士の講師による、ティッシュカバーやスマホスタンド、本棚作成講座を開催する。	1	0	20	0
15	とみひ支援者ネット	令和6年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	令和7年度より、実施方法を変更し、少人数座談会形式で実施。多職種を対象に勉強会（座談会形式）を開催。開催場所をためきち並木にすることで、駐車場完備となった。	6：事業者		高齢者虐待防止、権利擁護、身元保証について。不定期。	8	0	50	0
16	とみひ うどん祭り	令和7年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	子どもに対して食育が行われ始め20年が経つ。子どもだけではなく、食事がおとなりになっている高齢者などに対しても食事に對しても考えるきっかけとなり、また年代問わず交流できるイベントとして行う。	5：地域		関東学院大学栄養学部と協力し、教授による栄養座学と調理実習を交えた講座。今回は「うどん」作りを通し、トッピングで気軽に栄養を考えることをテーマにする。	1	0	24	0
17	障がい児者余暇支援事業「楽しいスポーツをしよう」	令和5年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	障がい児者が楽しく過ごすための余暇支援。地域の障がい児者同士、また地域のボランティアとの交流を目的とする。	2：障害児・者		輪投げ、チェックボール、ソフトバレー、ボッチャ等を楽しんでいた。 金沢シーサイドタウン地区社協が主催。共催として、区社協、並木・富岡東岡ケアプラザ、協力はさわやかスポーツ普及委員会、地区スポーツ推進委員連絡協議会、地区センター。	1	0	27	0
18	LET'S はまティー	令和7年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	介護予防三本柱「運動」「栄養」「社会参加」を1つの参加で満たせる講座。全8回を通し、自主グループ化もしくは他団体の運営ができるように案内する。	1：高齢者		参加費300円、毎月2回開催。毎回はまだちゃん体操を行う。また調理班と買物班に分かれ、グループで間食の1品を作る。最後は茶話会で仲間意識を高める。	15	0	76	0
19	サマースペースinピアレ	令和7年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	担当地域の子育て世代やその支援者と話す中で、「共働き世帯は急増し、長期休暇の子どものための悩みが多い。」「数少ない家での子どもの時間も、宿題やったりやらないで親子喧嘩になる。」などのご意見を聞き、親の負担軽減含め子どもにとって家庭が安心できる場所になり、家庭外の居場所の周知を目的とし開催。	4：子ども・青少年		会場の中で宿題をする時間帯とスペース、宿題が終わったら息抜きとして参加者どうして遊ぶことができるスペースとに区切り、昼食の提供もできるようにする。子どもだけの参加者には親へ到着確認連絡も行う。原則、参加者が自由に過ごせる空間を提供する。	16	0	210	0
20	障害理解ははじめの一歩	令和7年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	障害に対する誤解や偏見、差別があると思われる金沢区内の複数の出来事をきっかけに、障害分野での普及啓発事業が必要ではないかと考え、基幹相談支援センターや作業所など、様々な方々との協働で普及啓発を行う。	5：地域		午前・午後と映画上映を行い、合間にパンや手作り品の販売を行うブースを設ける。普及啓発が日常的に取り組めるようになるまで定期的に企画する。	1	0	20	0
21	なみき！ピアレde大家族！	令和7年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	「並木の子は文庫の方まで子ども食堂に通っている。」「並木にも子ども食堂が必要」などの地域の方々の声を受け、金沢シーサイドタウン地区社協を中心に子ども食堂立ち上げの相談を受け企画。	5：地域		準備から片付けまで一体的に参加できるような会食の場を設ける。ゆくゆくは地区社協中心に子ども食堂の立ち上げができるよう、支援する。	3	0	24	0
22	ちやいれっく並木二丁目保育室共催事業	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	保育室との連携維持を目的としつつ、地域で子育てをされている子育て世代への支援で協働する。年度内で5回実施予定。	3：養育者及び乳幼児		保育士と一緒に季節の行事や運動を楽しむほか、調理師に講師を依頼し、幼児食を学ぶ。 7月17日(木)・・・「保育園の給食ってどんなもの？」 9月18日(金)・・・「ちびっこ緑日」 11月20日(木)・・・「秋の自然を探る散歩にでかけようin長浜公園」 12月18日(木)・・・地域deクリスマス会 1月22日(木)・・・リズムあそび	5	0	84	0
23	小学生対象 ポッチャであそぼう！	令和7年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	昨年度「ケアプラザ対抗ポッチャ大会」を小学生も交えた交流として開催した際、参加者や保護者から好評であった。今年度3ヶケアプラザ（富岡・富岡東・能見台）のエリアの小学生を対象にポッチャ体験講座を開催し、さらにポッチャを楽しみたい小学生にはポッチャ大会へ参加できるようにつなげること、エリアを超えた多世代交流を目的とする。	4：子ども・青少年		7月29日(火) 3ヶケアプラザ共催で、夏休みにポッチャを知りたい、楽しみたい小学生を対象に体験講座を開催。	1	0	12	0
24	夏休み宿題Base（ベース）	令和7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て世代には共働き世帯や様々な状況を抱える家庭が増えるなか、夏休み期間の宿題や日中過ごす場所に関する悩みがある。並木の地域には、並木地域ケアプラザにて毎年夏休みの宿題をサポートする企画があるが、一部の住所の方にとっては遠方でアクセスに課題があるため、当ケアプラザでも実施する。	4：子ども・青少年		7月30日(水)・31日(木) ボランティアの見守りのもと、小学生が夏休みの宿題に取り組み。また、希望者には昼食を提供する。宿題の見守りボランティアは大学生、昼食を作るボランティアは賛助団体に依頼。	2	0	41	0
25	横浜高校天文学部とあそぼう！	令和7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て世代には共働き世帯や様々な状況を抱える家庭が増えるなか、夏休み期間の宿題や日中過ごす場所に関する悩みがある。夏休みの宿題の悩みとして多く聞かれる自由研究をサポートすること、楽しく科学を学べる機会、および高校生と地域の子ども達との多世代交流を目的とする。	4：子ども・青少年		8月8日(金) ゲームや科学にちなんだ工作などの内容決め、当日進行は横浜高校天文部の学生が担当。	1	0	23	0
26	打倒大学生！とみなみスポーツカップ！！	令和7年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	横浜市立大学と関東学院大学の大学生ボランティア6名が任意団体『とみなみ学生プロジェクト』として『地域連携・地域活性化』をテーマに定例会を行い、持ち寄った企画を実現する。地域の各所で赤やんを対象とした子育て支援の場はあるものの、就学前～小学生向けや親子参加型の事業は少ない現状がある。本企画ではそういった層へケアプラザのことを知ってもらう機会や、大学生や学生ボランティアとの世代間交流を目的とする。	4：子ども・青少年		8月24日(日) 地区センター体育館を貸切り「風船バレー」などのスポーツを通して、大学生と思いっきり遊ぶことができる。企画から運営全般を「とみなみ学生プロジェクト」が担当。地域のイベントに参加しながらチラシを配るなど、大学生が地域とつながり、今後の活動につながるようケアプラザも支援する。	1	0	31	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
27	わくわくカフェ	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の福祉保健活動の拠点として日頃、ケアプラザを利用しない世代へのアプローチの機会を創出することを目的に、並木中央小学校保護者有志のメンバー、子ども応援部と協力し、子ども達による子ども達の為のイベントをケアプラザで実施する。また、世代間交流の視点から小学生をフォローする大学生ボランティアを募集する。	5:地域		9月7日(日)・3月22日(日) 「小学生による小学生の為の企画」 わくわくカフェ実行委員会で作った出店を各100円程度で楽しめる機会を提供する。	2	0	660	0
28	貸館清掃	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	貸館登録団体Ⅱに対して、福祉保健活動の場を提供し『自分たちの活動拠点』として気持ちよく利用してもらうことを目的に清掃を行う。	7:その他		9月と3月に「Ⅱ団体」を募集し、各部屋と下駄箱、スリッパの清掃を実施。	12	0	43	0
29	ケアプラザ対抗！ポッチャ大会	令和5年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	金沢区内のCP自主事業からポッチャの自主グループが立ち上がっている。昨年度よりCoの連携、ポッチャグループ同士の交流を目的にCP対抗！ポッチャ大会を企画。今年度も郵便局とまちづくりの一環で一緒にぽっちゃを楽しもうというかたちで協力いただく。また7月29日に小学生対象のポッチャ企画を開催しながら、地域の小学生がこの大会に参加できる交流イベントをしていく。	5:地域		総当たり戦の「ポッチャ大会」を3回実施。 9月28日(日)・・・能見台地区センター 11月30日(日)・・・富岡小学校 2月1日(日)・・・富岡並木地区センター	3	0	96	0
30	お茶の間並木	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	高齢化に伴い、担当地区の中で外出困難や認知症という問題が出ている。筋トレと題し、自分らしく生活するための課題解決のヒントになる講座を開催し、担当地区の高齢者の介護予防を図る。講座での介護予防促進のみでなく、座談会も併せて開催し、参加者のグループ化を図り、自主活動に向けて支援する。	5:地域		認知症予防の総合的な講座。認知症に関する勉強会と予防に効果的とされている運動や栄養についての実践講座。 毎月第3月曜日(初回令和7年12月15日)	4	0	27	0
31	ウインタースペースinビアレ	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	担当地域の子育て世代やその支援者と話す中で、「共働き世帯は急増し、長期休暇の子どもについての悩みが多い。」、「数少ない家で子どもとの時間も、宿題やったやらないで親子喧嘩になる。」などのご意見を聞き、親の負担軽減含め子どもにとって家庭が安心できる場所になり、家庭外の居場所の周知を目的とし開催。	4:子ども・青少年		会場の中で宿題をやる時間帯とスペース、宿題が終わったら息抜きとして参加者どうして遊ぶことができるスペースとに区切り、昼食の提供もできるようにする。子どもだけの参加者には親へ到着確認連絡も行う。原則、参加者が自由に過ごせる空間を提供する。(令和7年12月25日～27日)	3	0	82	0
32	横浜子育てサポートシステム説明会	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の中で子育て世代の育児を相互で支援することで育児の孤立を防ぎ、ケアプラザとして地域ぐるみで子育て支援を図ることを目的として当該事業を開催。	5:地域		金沢区地域子育て支援拠点「とことこ」内にある金沢区支部事務局による入会説明会。	1	0	11	0
33	富岡東地域ケアプラザ祭り「東風祭」	平成17年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	これまで3月に開催してきたが、今回、初の試みで秋の11月に変更して開催。今回は「地域の団体様と一緒に盛り上げるお祭り」とする。	5:地域		富岡出身・在住のバリンピック馬術選手を迎え「挑戦がつなぐバリンピックとまちの元気」をテーマに講演会を開催。また、消防による防災体験ブースを配置。その他、健康チェック、物販、飲食を総合的に配置して実施。今はやりのスリッパ卓球やモルックなども実施。	1	0	200	0
34	スプリングスペースinビアレ	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	担当地域の子育て世代やその支援者と話す中で、「共働き世帯は急増し、長期休暇の子どもについての悩みが多い。」、「数少ない家で子どもとの時間も、宿題やったやらないで親子喧嘩になる。」などのご意見を聞き、親の負担軽減含め子どもにとって家庭が安心できる場所になり、家庭外の居場所の周知を目的とし開催。	4:子ども・青少年		会場の中で宿題をやる時間帯とスペース、宿題が終わったら息抜きとして参加者どうして遊ぶことができるスペースとに区切り、昼食の提供もできるようにする。子どもだけの参加者には親へ到着確認連絡も行う。原則、参加者が自由に過ごせる空間を提供する。	2	0	55	0
35	【チームオレンジ事業】みんなで話す認知症	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	チームオレンジの全市展開に伴い企画。担当地区の方に認知症月間や認知症の日のみでなく、日常的に認知症に触れる機会を設けることで、広く普及啓発を行うことができると考えられる。	5:地域		認知症本人やその家族等も含め、認知症について気軽に話せる場とする。講師による講演会、パネルディスカッション、パネリストと会場参加者とのトーク。	1	0	45	0
36	【チームオレンジ事業】良いとこ作り隊	令和7年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	チームオレンジの全市展開に伴い、年間事業として企画。担当地区の方に認知症月間や認知症の日のみでなく、日常的に認知症に触れる機会を設けることで、広く普及啓発を行うことができると考えられる。年間事業を通して、担当地区への認知症普及啓発、自助団体の立ち上げ等を目指す。	5:地域		認知症本人やその家族等も含め、居場所作りに取り組む。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、参加者が考える理想の居場所を考え、実現する。	7	0	55	0
37	【チームオレンジ事業】オレンジランプ上映会	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	チームオレンジの全市展開に伴い企画。担当地区の方に認知症月間や認知症の日のみでなく、日常的に認知症に触れる機会を設けることで、広く普及啓発を行うことができると考えられる。	5:地域		映画上映会を通し、認知症の普及啓発とする。また、本人やその家族からのメッセージを伝えることで、参加者に現実と映画を結びつける工夫をし、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに参加者も一緒に参画できるようにする。	1	0	32	0
38	【チームオレンジ事業】認知症VR体験会	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	チームオレンジの全市展開に伴い企画。担当地区の方に認知症月間や認知症の日のみでなく、日常的に認知症に触れる機会を設けることで、広く普及啓発を行うことができると考えられる。年間事業を通して、担当地区への認知症普及啓発、自助団体の立ち上げ等を目指す。	5:地域		認知症VR体験を通し、認知症の普及啓発とする。また、本人やその家族からのメッセージを伝えることで、参加者に現実とVR体験を結びつける工夫をし、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに参加者も一緒に参画できるようにする。	1	0	30	0
39	行政書士相談会	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民の方を対象に、成年後見制度及び相続・遺言等について不安を抱えている方が個人的に相談出来る機会を持つことにより、解決手段の方法の一つとして頂く。	5:地域		並木・能見台・富岡包括との連携事業。江崎行政書士をお呼びして、無料相談会を実施する。	1	0	3	0

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
40	横浜市立富岡東中学校職場体験学習	平成24年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地元中学校でもある富岡東中学校のキャリアデザイン学習の一環で職業体験の機会を提供する。例年の介護体験だけでなく、地域活動に参加する機会を提供し、自分の住む町に関心を持ってもらえる機会を創出する。	4：子ども・青少年		1月22日（木） ケアプラザの概要を説明した後、午前は地域交流の自主事業に参加。午後は通所介護にて体験学習を行う。	1	0	2	0
41	地層ジオラマde地域交流	令和7年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	高齢者・子供と保護者が協力して会話をしながら作品をつくることで自然な世代間交流を生み出す。幅広い世代の参加者が顔見知りになり、日常的な声かけや見守りにつながる関係作りを目指す。また、クラフト作業を通じて手指の運動や認知機能活性を促し、作品完成による達成感が自己肯定感につながる。	5：地域		3月7日（土） グループ分けされた参加者同士で話し合いながら「地層ジオラマ」を作成。	1	0	33	0
42	スリッパ卓球	令和7年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	普通のスリッパより球が大きくてラリーが続きやすいスリッパ卓球を年代関係なく参加できるように土曜日に実施する。	5：地域		12月より毎月1回 卓球台をいくつか用意し、ラリーの練習をしたり、対戦したりする。	4	0	13	0
43	モルックらぶ	令和6年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	最終的には参加者だけで準備から片付けができるように参加者と一緒に会場作り、得点や倒れたピンを戻すなどを参加者も行っていくけるようにする。チーム戦で名札を使用することで仲間づくりをしやすい環境とする。	1：高齢者		月2回、午前中と午後で各1回。会場作りから片付けまで参加者と共にを行う。	19	0	176	0